



さらに床反力が小さくなった、低反カリニアフィーダ

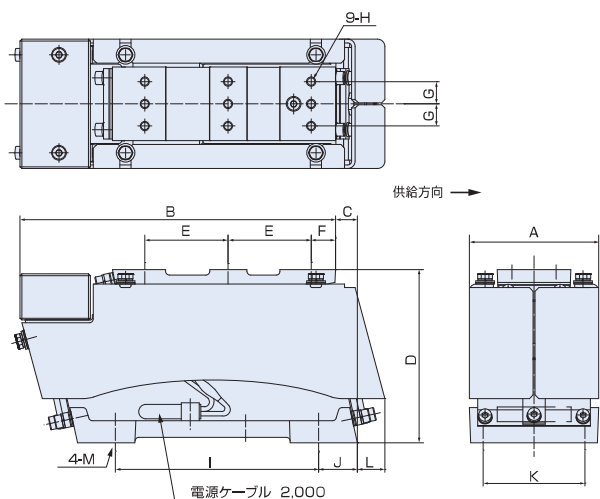
従来品より床反力を抑えた板ばね防振タイプのリニアフィーダです。駆動部の構造を細部にわたり見直し、さらなる低反力を実現。より高精度かつスムーズな部品供給が可能になりました。



特長

- より小さくなった床反力**
 駆動部の構造を見直し、従来の板ばね防振タイプに比べ、床反力を小さくしました。
- 板ばね調整・コアギャップ調整不要**
 別売の周波数可変コントローラにより、面倒な板ばね調整やコアギャップ調整が不要です。
- 振動干渉なし**
 パーツフィーダの振動数（全波／半波）の中間帯域で振動するため、パーツフィーダと組合せで使用しても振動干渉が発生しません。
- シュート振動角が均一**
 シュート全体の振動角がより均一となり、部品供給がさらに滑らかになりました。
- 少ない消費電力**
 共振の近くで駆動するので、少ない電流で十分な振幅を得ることができます。

外形寸法図 LFBR-350B/450B/600B 単位:mm



仕様

形式	LFBR-350B	LFBR-450B	LFBR-600B	
定格電圧	V	200		
定格電流	A	0.12	0.14	0.28
振動数	Hz	95~120	75~100	75~90
駆動部質量	kg	3.5	5.5	10.5
板ばね角度	度	12	15	15
最大振幅	mm	0.60	0.65	0.75
電源ケーブル断面積	mm ²	0.75×3芯		
適用コントローラ	AC200V用	C10-1VF/1VFEF		
	AC100V用	C10-1VF/1VFEF+C10-TR		

寸法表

単位:mm

形式	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
LFBR-350B	70	170.5	12	93.5	45	13	12	M5	110	21	55	14	M8
LFBR-450B	80	205	20	107.5	55	13	14	M6	130	38	60	13	M8
LFBR-600B	95	274.5	25.5	133	75	16.5	19	M6	190	46	75	13	M10

シュート仕様および基準位置

単位:mm

形式	最大長	最大幅	最小厚	質量範囲 (kg)
LFBR-350B	350	40	9	0.4~1.2
LFBR-450B	450	45	12	1.2~2.3
LFBR-600B	600	55	14	2.3~4.0

形式	基準位置 (シュート全長最大時)				
	L1	L2	L3	L4	L5
LFBR-350B	30~110	110~150	67.5	90	39
LFBR-450B	70~150	150~190	82	110	46
LFBR-600B	90~200	200~250	108	150	55

LFBRシリーズ シュート寸法図

